

科目	改善内容	改善の動機・理由等					
		部会等の提案	学生SE-アンケート	自治会等要望	担当教員要望	事務局提案	その他
基礎ゼミナール	クラスあたりの受講者数の調整。H18年度は、やや強い指導の下に20名から24名に受講者数を平均化した。これにより、H17年度に学生・担当教員から多く寄せられたクラスあたりの受講者数のばらつきに関する不満が軽減された。次年度もこのクラス編成方式を踏襲することにした。	○	○		○		
	次年度の都市文明講座レポートは、基礎ゼミナールを介さないで、受講生が直接教務課のレポート箱に提出することとした。	○			○	○	○
	基礎ゼミナールの一層の充実を図るために、基礎ゼミ担当経験者、新規担当者の情報交換の場「基礎ゼミ懇談会」を開催した。懇談会報告をFD委員会HPに掲載し	○	○		○		
	基礎ゼミナールの円滑な実施のために、昨年度に引き続き「基礎ゼミナール担当者への手引き」を配布した。	○	○		○	○	
	H18年度開講数77クラスを、次年度は78クラスにし、過去2年間の受講生申請分布を参照にしながら曜日配置を決定した。	○	○		○		
実践英語	実践英語Ⅰ(日本人担当)のテキストの選定、授業ガイドラインの改訂	○	○		○		
	実践英語Ⅰ、Ⅱ(NSE担当)のテキスト改訂、ガイドラインの改訂、講師研修	○	○		○		
	実践英語Ⅱのクラス規模の適正化を検討	○				○	
	履修義務免除者への対応(課題レポート添削)を改善	○					
	非常勤講師への対応を改善	○					
	CALL教室の開放、利用改善のための調査と対応	○			○		
	6号館での衛星テレビ番組放映の検討	○					
情報科目	ファイル名・フォルダの文字化け対処法の掲載				○		
	標準解像度で教員機中間モニタに表示(320,330教室)				○	○	
	教室の更新を行った(350教室)				○	○	
	アプリケーションのバージョンアップ(Maple9.5→Maple10, JMP5.1.2→JMP6)				○	○	
情報リテラシー実践	できる限り担当教員が所属コースのクラスを担当できるように時間割を調整した。	○			○		
	授業最後のテーマについては、コースによって内容を選択できるようにした。	○	○		○		
	情報倫理講習会内容を改訂				○		

科目	改善内容	改善の動機・理由等					
		部会等の提案	学生SE・アンケート	自治会等要望	担当教員要望	事務局提案	その他
情報リテラシー実践	昨年度の受講生数を考慮して、開講コマ数と時限を変更した。		○	○	○	○	
情報リテラシー実践	昨年度の受講生数を考慮して、開講コマ数と時限を変更した。		○	○	○	○	
都市教養プログラム	未開講科目の開講					○	○
	時間割配置変更による、多人数科目の発生防止	○	○				
	原則外配置(3限配置等)の承認	○	○	○	○		○
	他の必修・推奨科目との重複がないか検討、必要に応じ配置変更	○	○	○			
	人文社会系科目の特定時間帯への集中を緩和	○	○				
	新規科目の設置				○		
理工系共通基礎科目	クラスを小分けし、受講学生を100人以下に減らす。	○	○		○		
	クラス増に対応して、非常勤を増した。	○			○		
	受講学生数が多いのでTAを増やした。	○			○		
	履修の手引きの指針と関連して、学生が学ぶべき内容を明確にし	○			○		
	受講科目数を増やして、学生のレベルにあった講義が受けられるようにする。	○			○		
	授業のペースを学生のレベルに合わせる。	○	○				
時間割	実践英語再履修クラスの適正配	○		○	○		
	実践英語 I のクラス数の適正化	○					
	都市教養プログラムの受講生集中科目の時間割配置の工夫	○		○	○		
シラバス	シラバスの内容を教員間で統一する。(理工系)	○	○		○		
	シラバスの充実(情報)	○			○		
	コース単位のシラバス作成(情報)	○			○		
教室設備等	1号館3階のDVDプレイヤーの設				○	○	
	1号館3階のヒアリング装置の更				○	○	
	1号館各教室の黒板の付け替え	○	○		○		
	1号館各教室のスクリーンの付け替え	○			○	○	
	1号館中規模教室(100人教室)のAV機器およびマイク施設の設置	○	○		○	○	
	6号館中規模教室(100人教室)のAV機器およびマイク施設の設置	○	○		○	○	
	6号館での衛星テレビ番組放映設備の設置	○				○	
その他	理工系共通基礎科目の整理・統					○	
	都市教養プログラム未開講科目・新規開講科目の開講				○	○	
	授業案内に掲載する科目の整理					○	